

Skyportal アプリケーション マニュアル

初期設定

く設定	Wi-Fi	
Wi-Fi		
Celestron-CC セキュリティ保護さ	8 れていないネットワーク	? (j
マイネットワーク		
		🔒 🗢 🚺
ほかのネットワーク		
		🔒 🗢 🚺
		🔒 🗟 🚺
		🔒 🗢 🚺
		🔒 🗢 🚺
		ê 🗢 🚺
その他		

接続を確認 値認 > 接続したことのあるネットワークに自動的に接続します。接続した ことのあるネットワークが見つからない場合は、確認メッセージを 表示してから新しいネットワークに接続します。



NexStar EvolutionやAstro Fi5 SCTの場合は電源を ONにするとWiFiを受信できるようになります。 SkyPortal WiFi Moduleの場合は、本体横のモード 切替スイッチをダイレクトコネクトモードに切り替え て、望遠鏡のAUXポートに接続し、望遠鏡の電源を ONにします。詳しくはSkyPortal WiFi Moduleの取扱 説明書をご覧ください。 次に、スマートフォンやタブレットの「設定」メニュー を開き、WiFiオプションを選択します。 「Celestron-###」と名前の付いたアクセスポイント (SSID)を選択します。

「Celestron-###」に接続中はインターネットには 接続できませんのでご注意ください。

「接続してアライン」をタップします。 望遠鏡が今どの星に向いているかを認識させるために アライメントという作業を行います。 アライメントをする場合は、中倍率から低倍率の接眼レ ンズを使用しておこないます。

「接続」をタップすると、前回使用していたアライメント 情報で望遠鏡を設定します。望遠鏡の出し入れで設置 位置が変わる場合には、「接続してアライン」をタップ してください。

自動導入経緯台式の架台と赤道儀式の架台では アライメント方法が異なります。





SkyPortalアプリのアイコン を起動します。

をタップしてSkyPortal

SkyPortal画面下の「コンパス」をタップするとスマート フォンのコンパスに連動して画面がスクロールします。

次に「望遠鏡」アイコンをタップして望遠鏡と接続しま す。

※望遠鏡とWiFi接続できる端末は1台のみです。

[NexStarEvolution、Astro Fi5 SCT、SkyPortal Wi-Fi Module接続などの自動導入経緯台の場合] スカイアライメント機能により、天空の肉眼で見える 任意の明るい3つの星(基準星)を望遠鏡の接眼レン ズ視野にマニュアルで導入して行います。「ファイン ダー導入モード」で大まかな方向を設定し、接眼レン ズに星を導入する微動の「視野導入モード」で正確な 方向を設定します。

スマホ画面両サイドの上下左右ボタンを操作すると 望遠鏡の向きが動きますので、天空で見えている明 るい星(一つ目の基準星)をファインダー中央に導入し 「ENTER」をタップします。

おおよその向きが定まるとともに、視野導入モードに 切り替わります。



スマホ画面両サイドの上下左右ボタンを操作して、4 で導入した基準星を、接眼レンズの中央に導入し、 「アライン」をタップします。一つ目の基準星が設定 され、4に戻ります。4~5の操作を3回繰り返し、「ア ライメントが成功しました」と表示されれば、アライメ ント設定が完了し、望遠鏡が追尾を開始します。 基準星を選ぶにあたり、天頂付近の星は避けてくだ さい。アライメントの精度が得られません。 夜空に大きな三角形を描く星を選ぶと、アライメント が成功しやすくなります。 ※「視野導入モード」時の望遠鏡スピードは、Rate2 (微動)となります。[�参照]

6 西 252.4° 高度 +25.6° 28.2° x 48.4 . . . Rate: 1 2 3 4 X

アライメントが完了後、星図上の見たい星をタップして 「導入」をタップすると望遠鏡が自動でその星を自動導 入して追尾をします。

Rateの1~4はモータースピードが割り振られています。 1が一番遅く、4が最高速に設定されています。モーター 音が大きい場合は3をタップすると静かになります。 オレンジのセレストロンマークをタップすると機能の詳細 設定(望遠鏡のセットアップ)画面となります。 「ロック」をタップするとターゲットマーカーが中心に固定 され星図が移動します。



[Advanced VXなどの赤道儀の場合] ホームポジション(ウエイトが下(低い位置) 鏡筒が北向 き)に設定後、オブジェクトアラインの画面でOKをタップ するとアライメントのフローが開始されます。画面に従 ってアライメントを行ってください。

最初は星図の東側から明るい星を選んでタップし、導入 を選択します。導入が開始され、ファインダーの視野に 星が導入されます。その後、スマホ画面両サイドの上下 左右ボタンを操作すると望遠鏡の向きが動きますので 星をファインダーの中央に導入し、「ENTER」を押します。 続いて望遠鏡の接眼レンズを覗きながらスマホ画面の 上下左右ボタンで視野の中央に星を導入し「アライン」 をタップします。SkyPortalの指示で、合計で4点の基準 星をアライメントし、完了をタップします。 なお、流れは工程4~5と同じとなっているため、併せて

お読みください。



「検索」アイコンをタップし、「今夜のベスト」を選択すると 今晩良く見える天体の一覧が表示されます。 どんな天体が見たいのか迷ったときに開くと今夜のお勧 めの天体を、SkyPortalが教えてくれます。 SkyPortal画面の星図で天体をタップし、画面下部の「情 報」をタップすると天体の詳細なデータを確認することで きます。

・<u>各種設定</u> 望遠鏡マークをタップして「接続」をタップし、オレンジのセレストロンマーク <mark>整</mark>をタップすると望遠鏡セットアップ画面が表示されます。



望遠鏡 セットアップ 手動アラインを使用したアライメント

デフォルト

デフォルト

ウエッジアラインを使用したアライメント

休止状態が有効

最小

最大

方位角 高度

赤経/水平 軸

赤緯/高度 軸

デバイスを傾けて操作

コード絡み防止 有効

3+7 || - | . - k

有効な最大スルー レート

A

タ方などで惑星しか見えない場合は、手動アラインを 使用したアライメントで初期設定することができます。 アライメントから「手動アラインを使用したアライメント」 をタップし、完了をタップします。

いったん「切断」をタップして、「望遠鏡」アイコンをタップ して「接続してアライン」を選択します。星図から見えて いる惑星をタップし、上下左右ボタンの操作により、惑 星をファインダーに導入し「ENTER」をタップします。そ の後、接眼レンズの視野の中心に惑星を導入しました ら「アライン」をタップします。

次の基準星を選ぶ画面が表示されますが、「完了」を タップすると惑星のみでアライメントが完了し、望遠鏡が 追尾を開始します。1星でのアライメントですので、導入 精度は高くありません。

[アンチバックラッシュ]

すべての機械歯車には一定量のバックラッシュ(歯車間 の遊び)があります。ギア間の遊びを測定しモーターの 速度を調整することでバックラッシュを補正できます。通 常は20から50の値が最も観測に適しています。 [アプローチ方向を反転]

[アフローナガ 向を反戦]

ユーザーは天体から天体を自動導入するときバックラッ シュの影響を最小限に抑える機能です。通常は「デフォ ルト」でご使用ください。

[デバイスを傾けて操作]

右側の〇をタップして完了をタップし、スマートフォンを しばらく水平にすると画面の右側に が表示されま す。アイコンをタップするとアイコンが明るくなりますの で、ゆっくりスマートフォンを傾けるとその方向に望遠鏡 が動きます。



[自動導入経緯台の望遠鏡セットアップ画面]
追尾レートは見る天体に応じて変更してください。
通常は恒星時追尾でご使用ください。
アライメントは、通常「スカイアライメントを使用したアライメント」でご使用ください。
タ方など惑星しか見えない場合は「手動アラインを使用したアライメント」をご使用ください。
[導入制限]

自動導入時に鏡筒先端が経緯台ベースに当たったり 経緯台ベースに天頂プリズムが当たったりしないよう に鏡筒の動きを制限する機能です。通常最小は10° 最大は70~80°で設定します。

望遠鏡 セットアップ	完了		
手動アラインを使用したアライメント			
ウエッジアラインを使用したアライメント			
休止状態が有効			
最小	10°		
最大	— 80°		
方位角	30		
高度	30		
赤経/水平軸 デフォルト	反転		
赤緯/高度軸 デフォルト	反転		
デバイスを傾けて操作			
コード絡み防止 有効			
有効な最大スルー レート			

[コード絡み防止]

有効は外部バッテリーを接続している場合、自動導入 時に望遠鏡がコードを望遠鏡に巻きつけないようにす る機能です。通常は有効でお使いください。

[有効な最大スルーレート] 有効にすると、導入スピードを調整することができます。

最大スルーレートのバーを左側に動かすことでスピード を遅くすることができます。星図画面のセレストロンマー ク横のRate1~4よりも細かに調整ができますのでモー ター音を確認してレートを調整してください。



[赤道儀式の架台の望遠鏡セットアップ画面] 赤道儀式架台の場合「ホームポジションに移動」を選択する と、バランスウェイトが真下に向き、鏡筒が北に向くホーム ポジションに自動で動きます。極軸調整前や撤収時に使用 すると便利です。

見る天体に応じて変更してください。通常は恒星時追尾でご 使用ください。

自動導入時に鏡筒が三脚にぶつかったりしないように鏡筒の 動きを制限する機能です。シュミットカセグレン鏡筒など短い 鏡筒は、最小は10°、最大は90°(デフォルト設定)を使用し ますが、屈折望遠鏡など長めの鏡筒の場合は、調整する必 要があります。

[休止状態が有効]

「追尾レート」

[導入制限]

望遠鏡を移動させなかった場合に現状の状態で復帰させる 機能です。ドーム使用の場合に有効です。

[赤経・赤緯ガイドレート(オートガイダー端子付架台、接続時のみ)]

オートガイド補正速度を、恒星時のパーセンテージで設定することができる機能です。

赤道儀架台の場合、アライメント終了後、オールスター極軸 アライメントを行う事ができます。

オールスター極軸アライメントは、極軸のズレを調整する機能です。長時間露出による追尾撮影を行う場合はオールスターアライメントを選択してください。オールスター極軸アライメントはSkyPortalの画面に従って行ってください。

望遠鏡 セットアップ _ 最大 ソフトウェア赤経の制限 赤経最小値 赤経最大値 赤経 赤緯 赤経/水平 軸 デフォルト デフォルト 赤緯/高度 軸 デバイスを傾けて操作 赤経ガイドレート 赤緯ガイドレート 🗕 有効な最大スルー レート

[ソフトウェア赤経の制限]

鏡筒が子午線を越えて反転するまでの角度を設定すことが できる機能です。東西両方で-20°まで設定することができ ます。長時間露出による撮影中の、急な鏡筒反転を防ぐこ とができます。



暗い観測現場などでSkyPortalの画面が明るい場合は画面 下部の「夜」アイコンをタップするとナイトビジョンモードにな ります。

自動導入時、導入精度が悪いと感じた場合には、導入天体 を視野中心に持ってきて、「アライン」をタップすると、同じ方 角の天体の導入精度が上がります。「アライン」をタップして 設定できる基準星の数は最大10です。



これ以外の機能に関しましては、「ヘルプ」をタップし確認してください。

最大 ソフトウェア赤経の制限 赤経最小値 赤経最大値 $\overline{}$ 赤経 赤緯 \cap 赤経/水平 軸 デフォルト デフォルト 赤緯/高度 軸 デバイスを傾けて操作 \bigcirc 赤経ガイドレート 赤緯ガイドレート 有効な最大スルー レート

望遠鏡 セットアップ

製品についてのお問い合わせについて

弊社ホームページのお問い合わせメールフォームにて受け付けております。

https://www.vixen.co.jp/

またお電話によるお問い合わせも受け付けております。

4

カスタマーサポート 電話番号: 04-2969-0222 (カスタマーサポート専用番号) 受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:30

(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く)